

三重県東員町・鈴鹿市・中日新聞社

広報研修報告

5月26日・27日

東員町

いなべ市の東で桑名市・四日市市に隣接し、人口2万6000人余り、北勢経済圏のベッドタウンで名古屋市から30kmに位置し、自然豊かな町である。平成合併せず、町単

独で運営。

池田町と人口、自然、合併と共通点の多い町です。

広報編集の特色

公平で公正な編集を行い、読みやすい、わかりやすいをめざす。

- ①記事40%見出し20%写真20%余白20%ゆとりある紙面にする。
- ②子どもの写真、表情豊かな動きのある写真を使う。
- ③「あれからどうなった」コーナーを作る。
- ④年2回はクイズを掲載し当選者には図書券を贈る。

鈴鹿市議会

建設水道常任委員会（水道局・土木部・都市整備部）の傍聴

中日新聞社

本社においてPTA新聞・広報誌づくり講習会
議会広報づくりに共通している所が多く、多くの出席者と共に有意義な研修を行う。



東員町役場ロビー証明書自動交付機



中日新聞社での研修

募集

議会だより、表紙の写真（人物）を募集いたします。
採用は広報編集委員会で決定致します。画像データはお返し致しませんのでご了承下さい。
地域のすばらしい写真を期待しています。
送り先は池田町役場3階議会事務局まで。

編集後記

選挙後初の定例会が、新定数12名で開かれました。
2つの委員会に全員が入って協議する事は池田町議会が始まって以来の事で、画期的な事です。
一人一人がさらに町民の負託に込められるように耳を傾け、努力せねばなりません。
松岡正彦議長を中心として、新しい気持ちでスタート致しました。
議会広報もさらに魅力ある内容にと、委員が懸命に取り組んでいます。